

動員のメディアミックス

〈創作する大衆〉の戦時下・戦後

大塚英志 編

(国際日本文化研究センター教授)

A5判・536頁／定価：本体4,800円(税別) ISBN978-4-7842-1897-4

2017年10月刊行予定

◎現代の日本まんが・アニメーションにおけるマーケティング技法として注目されるメディアミックスを、とくに戦時下日本における「動員」の技術として捉え直すことで、メディア、プロパガンダ研究史の更新を試みる、国際日本文化研究センター共同研究の成果論集。

◎まんが・アニメーション・映画・模型といったメディア内、およびメディア間の相互関係のみならず、多様な分野に成立した〈創作する大衆〉の「書く」「つくる」という行為や書式が、いかにして「動員」されていったのか。その諸相を描き出す。

◎また一次資料として、日本映画史研究の第一人者・牧野守氏による三木茂(1905-1978、記録映画監督)インタビューを収録。



予定目次

メディアミックスによる動員／戦時下のメディアミックス

I 戦時下のメディアミックス

東宝スペクタクル映画『孫悟空』に見る戦時色／日本アニメーションのもうひとつの源流／〈漫画的イメージ〉の拡散／戦時下の兵器模型と空想兵器図解／選挙粛正運動における視覚メディア

II 創作する大衆と動員のリテラシー

動員される映画観客のリテラシー／戦時下におけるアマチュア映画文化／いくつかの〈こども風土記〉／昭和十三年の高等女学校制服調査にみる戦時下と制服／自身の領分

III 動員の諸相

トランスナショナルな映画史の可能性／教育イストリエタの歴史の描き方／ある海軍技師の光学技術と戦後メディア／フェアプレイと混沌の狭間に／一九六〇年代のエロ・やくざ映画ブームとその背景

補論 レイヤー化する歴史

プログラミングによるレイヤー実装構想と抽象化の壁／麻枝准に与えた村上春樹の影響／まんがにおける〈大きな物語〉の復権

問題提起 研究ノート／資料

岩淵正嘉文献リスト／Media Mix Mobilization解題／「規格化」をめぐる知の政治学／三木茂インタビュー（インタビューア：牧野守）

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-533-6860 fax075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	動員のメディアミックス	本体4,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1897-4	
お名前		tel		本書HPのQRコード	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				